

官民ファンドの活用推進に関する関係閣僚会議幹事会（第15回）

ご説明資料（LP出資について）

2022年10月20日
株式会社 産業革新投資機構
Japan Investment Corporation

- 経営理念に掲げる「活動の柱」を土台に、日本の産業競争力強化の観点から重要な政策領域※に対し、投資活動を通じて貢献していく。

※スタートアップ支援・オープンイノベーション推進、2050年カーボンニュートラルに向けたGX（グリーン・トランスフォーメーション）推進、DX（デジタル・トランスフォーメーション）推進、科学技術・イノベーションの推進など。

JICのスタートアップ支援方針

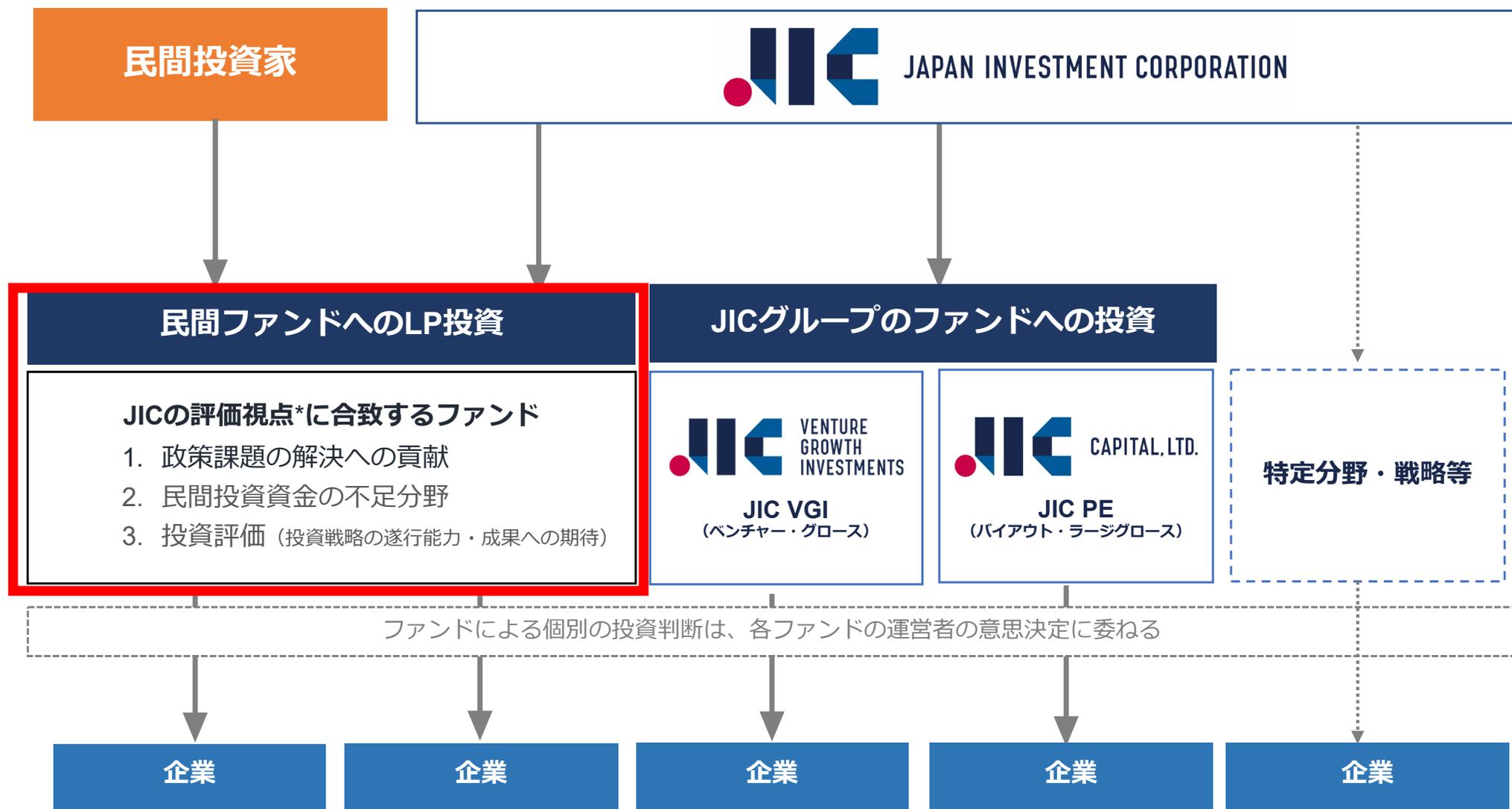
- 政府において、スタートアップ支援強化の方針が打ち出される中、JICとしても、Society5.0の実現や、ユニコーンの創出に向け、民間投資資金の不足分野に、リスクマネーを供給し、VCをはじめ、我が国のスタートアップ・エコシステムの成長・発展に貢献していく。
- ①研究開発から社会実装までに長い期間と大規模な資金を要するディープテック
②有望なスタートアップの数を増やし、裾野を広げる上で重要なプレシード・シード
③事業成長に資金を要するグロースや、スタートアップのグローバル市場進出、などの分野を重点的に支援していく。

JICの活動の柱

(1) オープンイノベーションによる企業の成長と競争力強化に向けたリスクマネーの供給

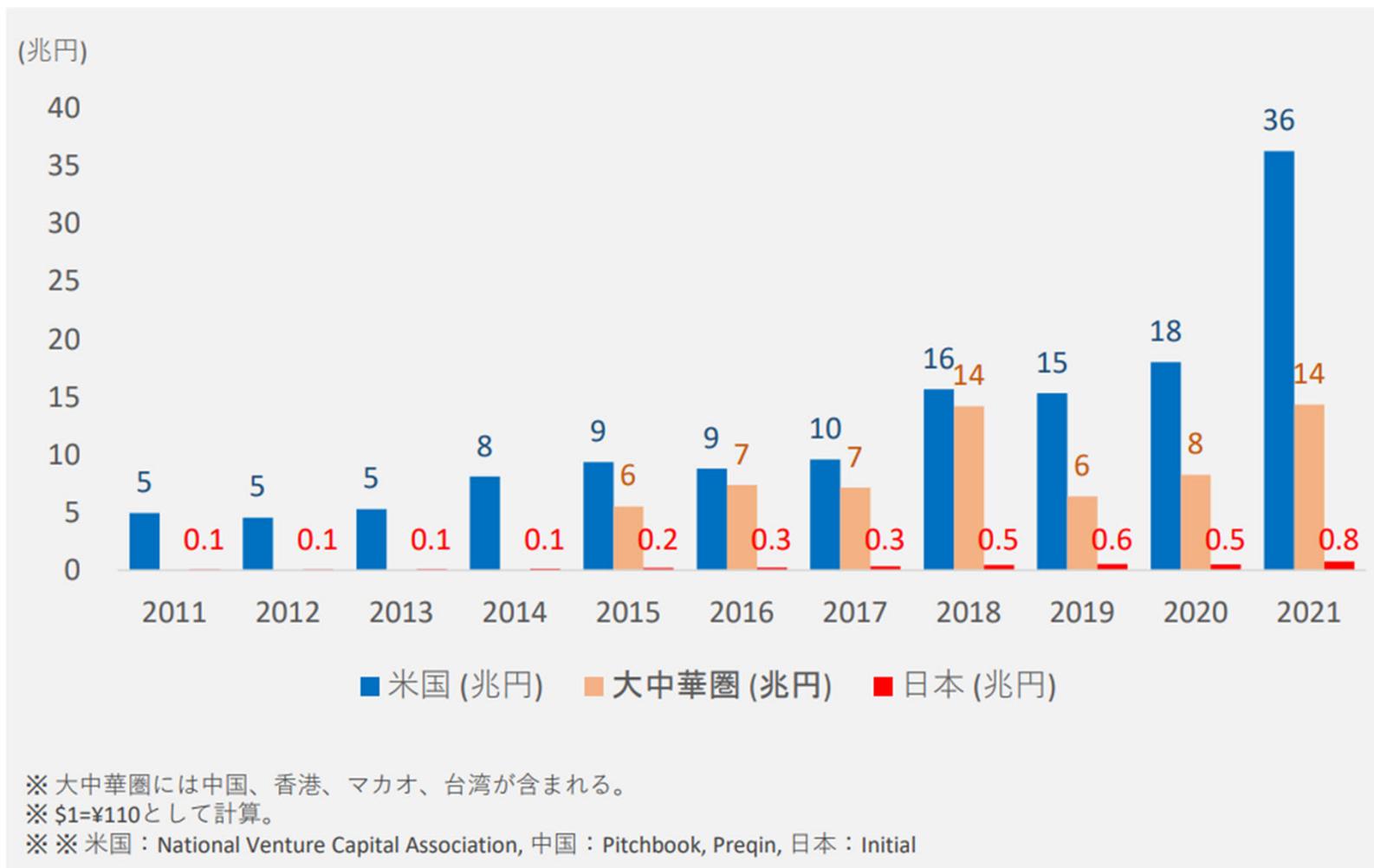
(2) 我が国のリスクマネーの好循環創出に向けた基盤づくり

- 経営理念に基づき、民業補完の原則の下、ファンドへの投資を通じ、オープンイノベーションによる企業の成長と競争力の強化に向けたリスクマネーを供給する。



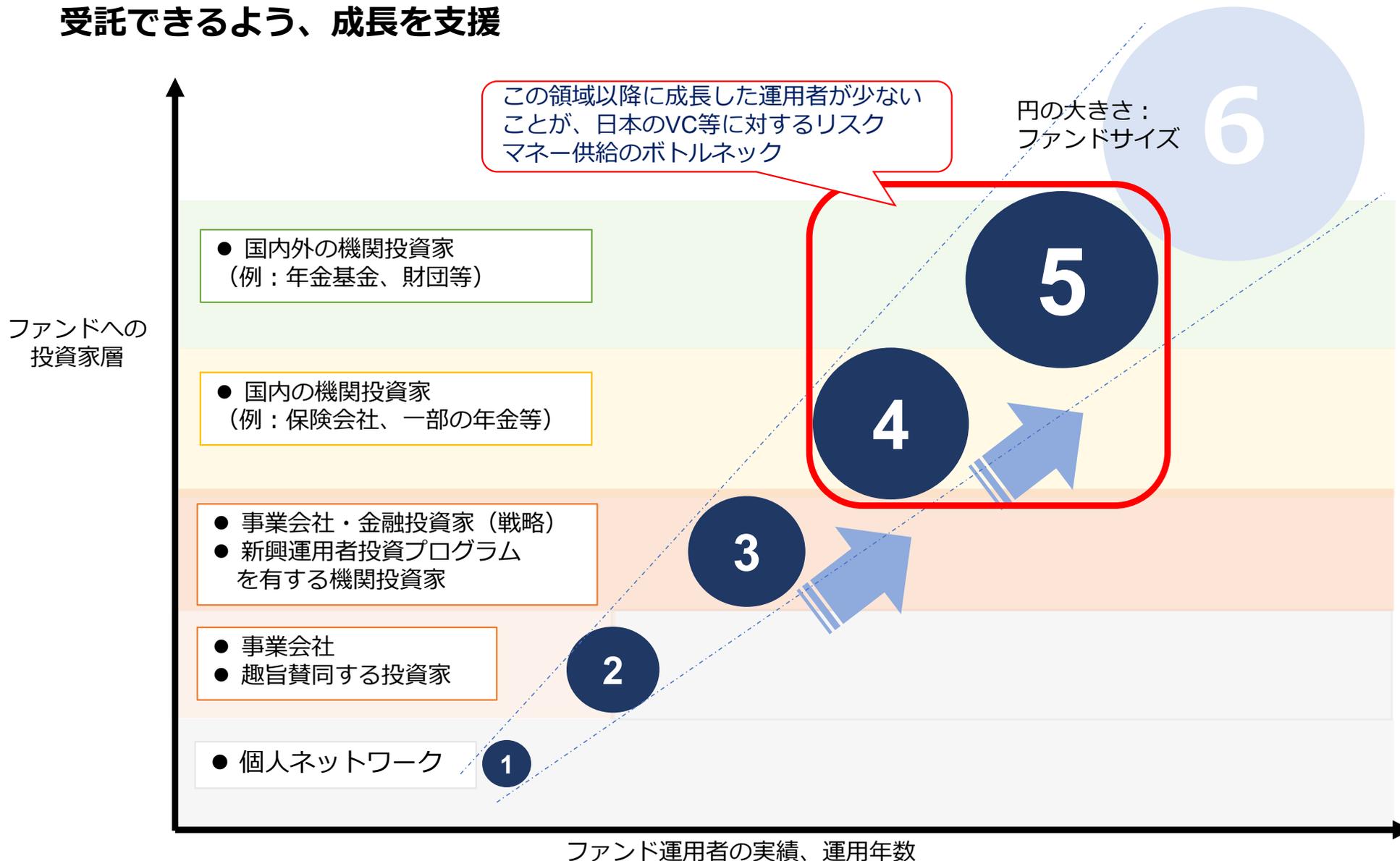
*上記視点に加えて、募集状況、ファンド（運用者）の成長段階、JICの役割・ポートフォリオ等の観点を総合的に勘案する。

- 国内スタートアップへの投資額は年々増加しているが、米国市場等に比べれば、大きな差がある状況。



出典：総合科学技術・イノベーション会議
第4回 イノベーション・エコシステム専門調査会
資料2 スタートアップ・エコシステムの現状と課題

- 日本のファンド（特にVC）は、欧米に比べて、**年金等の機関投資家からの資金受託が少なく**、中長期的な成長を支えるリスクマネーの確保の観点から大きな課題
- リスクマネーを仲介する役割を担う、日本のファンド運用者が、**国内外の機関投資家から資金受託できるよう、成長を支援**



対GP（ファンド運用者）

• 出資

- ファンドサイズの拡大により、投資キャパシティの増強、投資体制の強化が可能
- 初号ファンドや民間の投資資金が集まりにくい領域（投資対象セクター、投資手法等）に取り組むファンドも対象に出資することで、トラックレコード作りをサポート

• ファンド運営、ガバナンスに関する助言、サポート

- 組織化されたファンド運営体制（ファンドサイズ拡大による体制強化、投資チームの構成・業務分担）
- 世代交代や安定した組織運営（インセンティブ構造の見直し）
- 適切な利益相反・利害一致管理（キャプティブ構造からの脱却、ファンド事業への専念、諮問委員会の運営）
- グローバルスタンダードに則った組合契約
- 海外機関投資家に対応できるIR（DD対応、レポーティング、組合員集会運営）
- 公正価値評価の導入

• 機関投資家ネットワークの紹介

- 安定的・継続的なLP出資が期待できるLP投資家構成の実現

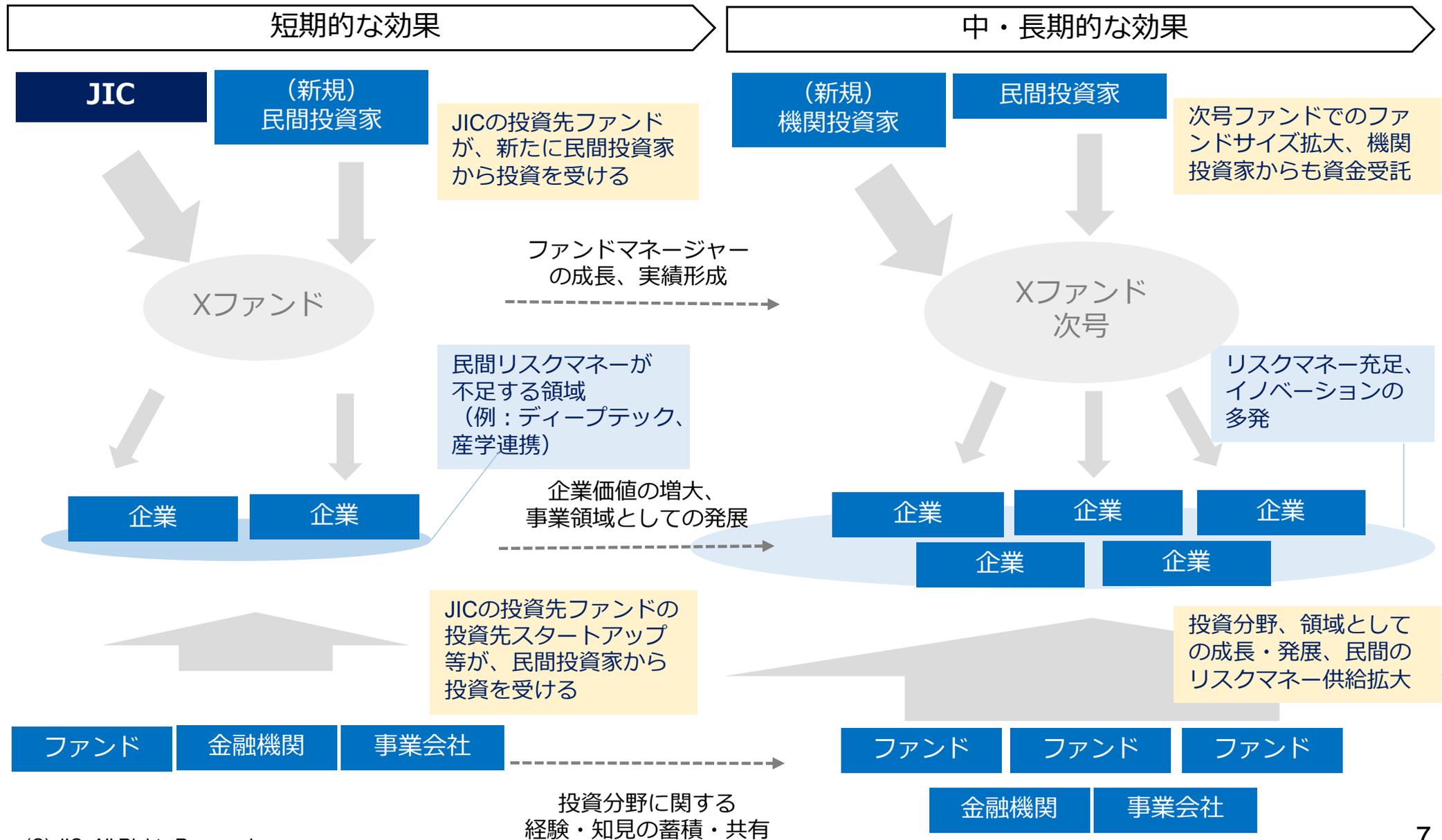
対LP（機関投資家等）

• 国内外の投資資金の日本市場への呼び込み

- 国内VCの成長を支援することにより、潜在的な投資対象・ファンドユニバースを拡大
- 国際的なカンファレンス等でのJICの活動紹介を通じ、国内VC市場に対する関心を向上
- 海外の投資家等に向けた、日本のスタートアップエコシステムに関する情報発信

ファンド投資の「呼び水」効果

- 民間の投資資金への「呼び水」効果は、短期では、①JICの投資先ファンド、②JICの投資先ファンドが投資する企業（スタートアップ等）への発現を企図。中長期では、リスクマネーの好循環を支えるエコシステムが発展し、自立的に機能する姿を目指す。



参考：JICによるファンド投資の視点と ファンド投資実績

1 産業競争力強化に関する政策課題の解決に貢献する投資戦略*であること

*投資戦略：投資手法、投資ステージ、対象セクター、対象地域等

2 民間の投資資金が不足している分野であること

3 運用者に投資戦略の遂行能力があり成果を期待できること（一般の投資評価）

注：上記基準に加え、ファンドの募集状況、ファンド（運用者）の成長段階、JICの役割・ポートフォリオ等の観点を総合的に勘案する。

- ファンドの投資戦略（投資手法、対象セクター、ステージ、対象地域等）について、産業競争力の強化に関する**政策課題の解決に貢献することが期待できるか**を考慮する。
- 産業競争力強化法に基づく投資基準*に従って、以下の**4つの重点投資分野**に対し投資。これらの分野を中心に、JICにおける分析や政府との対話等を通じ、対象とする政策課題や分野を検討する。

* 株式会社産業革新投資機構投資基準（平成三十年経済産業省告示第百九十四号）

重点投資分野



Society
5.0

Society5.0に向けた 新規事業の創造の推進

事業者にとってや不確実性が高い非連続的な成長が必要であり、長期かつ大規模なリスクマネー供給を必要とする新規事業の創造に係る事業分野を支援



ユニコーンベンチャー の創出

グローバルな経済圏において競争力をもって持続的に成長することを目標とするユニコーンベンチャーを創出



地方に眠る 将来性ある技術の活用

高い収益が期待できる技術力が多数あるにもかかわらず十分に活用されていない地方の大学発ベンチャー等の資金需要に対応



産業や組織の枠を 超えた事業再編の促進

国際競争力を持ちうる事業分野において、オープンイノベーションに向けた大胆な事業再編を通じて産業競争力の強化を支援

① Society5.0に向けた投資

AI、IoT、ロボットといった第四次産業革命に関する技術の社会実装の他、バイオ・創薬・ヘルスケア、モビリティ、宇宙、素材、電子デバイス等の国際競争力を持ちうる事業分野に対する、長期かつ大規模なリスクマネーを供給する。

ディープテック

- ✓ ①デジタル技術も活用した、フィジカル技術ベースの非連続なイノベーションに基づき、②社会課題の解決に大きなインパクトをもたらす可能性を有する技術で、③その研究開発段階から上市までに長い期間と相当程度の資金を要するディープテックの研究開発・社会実装を支援する。



ライフサイエンス・バイオテック

- ✓ スタートアップと製薬会社とのオープンイノベーションによる革新的新薬の開発をはじめ、医薬品、医療機器、ヘルステック、バイオテクノロジーなど、ライフサイエンス分野のイノベーションを支援する。



カーボンニュートラル・クライメートテック

- ✓ クライメートテック領域の革新的イノベーションや新たなビジネスの創出を支援し、地球温暖化対策を経済成長に繋げるとともに、世界の脱炭素化に貢献する。



オープンイノベーション

- ✓ 米国、東南アジア、インド、イスラエル等の先進的な技術等を有するスタートアップと日本企業との事業提携等によるオープンイノベーションを促進し、革新的なビジネスの創出を支援する。



②ユニコーン創出に向けた投資

- グローバルな経済圏において競争力をもって持続的に成長することを目指す**ユニコーンの創出**に対する長期かつ大規模なリスクマネーを供給する。

プレシード/シード

- ✓ 将来的にユニコーンに成長する可能性がある有望なスタートアップの数を増やしていくため、プレシード/シードステージのスタートアップを支援し、日本のスタートアップ・エコシステムを下支えする。



グロース

- ✓ 日本市場において、民間の投資資金が不足している、グロースステージにあるスタートアップが、ユニコーンを目指し、事業を十分に成長させるための大規模なリスクマネーを供給する。



ゴー・グローバル

- ✓ ユニコーンや、それを超える巨額の企業価値を有するスタートアップへの成長を志向する多くのスタートアップにとって重要となる、グローバル市場への進出を支援する(海外拠点を持つVCの支援やグローバルに活動するVCの呼び込み)。



ダイレクト・セカンダリー/ Continuation Fund

- ✓ ユニコーンを目指すスタートアップが、出資を受けたファンドの存続期限により、十分な成長を制約されることのないよう、日本市場におけるセカンダリー市場の発展を支援する。



③ 地方発イノベーションのための投資

- 事業化により高い収益を期待できる技術を有するにもかかわらず、事業としての成長の機会を十分に与えられていない、**地方の大学発ベンチャー**等の資金需要に対応するためのリスクマネーを供給する。

産学連携

- ✓ 日本市場では、多くのVCが東京を中心に投資活動を行っていることから、民間の投資資金が投下されにくい、地方大学等にある優れた技術の事業化を目指す研究開発型スタートアップ等を支援し、日本各地のスタートアップ・エコシステムの醸成を支援する。

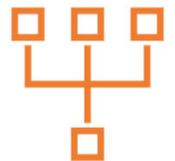


④ 産業再編に向けた投資

- 産業構造、国際的な競争条件の急激な変化に対応するため、日本が国際競争力を持ちうる事業分野における、既存企業による**産業や組織の枠を超えた大胆な事業再編**を促すためのリスクマネーを供給する。

カーブアウト・ ロールアップ

- ✓ 日本市場において、民間の投資資金が不足している、製造業等を対象としたカーブアウト・ロールアップ戦略をはじめ、国際競争力を持ちうる事業分野における、**産業や組織の枠を超えた大胆な事業再編**を支援する。



①日本市場で民間投資資金が不足している分野（投資対象セクター、投資手法等）であるか、②マクロの経済情勢、市場環境の悪化等により民間のファンド等からの資金が縮小している状況にあるか、等を調査・分析することで、民間の投資資金の供給状況を考慮する。

1. 民間の投資資金が不足している分野（対象セクター、投資手法等）

- 投資成果の実現までに長い期間を要したり、大規模な資金を必要するセクターやステージ
- 有望な技術・事業を成長させるための民間の投資資金が十分に供給されにくいセクターや地域
- 日本市場では先例が少なく、確立していない投資戦略や投資手法 等

* これらの状況を分析し、対象セクター、ステージ、対象地域等でマッピング

* 新たな投資戦略や投資手法については、欧米等の状況との比較検討等を実施

2. 市場環境の悪化等による民間の投資資金の縮小

- マクロの経済情勢、市場環境の悪化等を踏まえた、民間投資家の投資資金の縮小の状況
- 民間資金の補完により、リスクマネーの循環を促進する効果が発現する蓋然性

- ファンド運用者が**投資戦略の遂行能力があり、リターンをはじめとする成果を期待できるか**、投資戦略、運用体制、投資プロセス、トラックレコード、ポートフォリオ等を分析し、評価する。

<投資評価の項目例>

1. 投資戦略	投資コンセプト・テーマ、投資手法、対象セクター、ステージ、対象地域、リターン・リスク水準等
2. 投資体制	GPの投資実績、ネットワーク、投資チームの構成・役割分担・インセンティブ設計、投資チーム外の支援体制、他の事業等とのコンフリクト（利益相反）の有無等
3. 投資プロセス	ソーシング、デューデリジェンス・意思決定プロセス（投資委員会の運営）、投資先支援、EXIT状況等
4. トラックレコード	既存ファンドにおける投資実績、投資済み案件の成長見込み、過去の失敗案件の分析等
5. ポートフォリオ	投資戦略との整合性、分散、運用キャパシティ等
6. 業務遂行体制	ミドルバック業務のオペレーション体制、コンプライアンス体制・内部統制、ITシステム・BCP、ESG/SDGsに関する取組 等
7. 契約条件等	ファンドの経済条件（GPの管理報酬、GP・LP間の利益分配等）、ファンド存続期間やストラクチャー、キーパーソン、ファンドのガバナンス（利益相反事象の発生防止、ポートフォリオの分散の確保等）、情報開示・レポーティング対応（四半期運用報告、公正価値評価等）
8. 外部からの評価	

JICの投資先ファンド一覧①



公表日	ファンド名	JIC 投資額*	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
2020年 7月8日	JICベンチャー・ グロース・ファン ド1号投資事業有 限責任組合	1,200億円	ベンチャー・グロース領域に十分なリスク マネーを供給し、呼び水効果、業界連携、 オープンイノベーション促進による日本の 国際競争力向上、産業及び社会の課題解決 を企図	✓	✓	✓	
2020年 9月9日	JIC PEファンド1 号投資事業有限責 任組合	2,000億円	大規模・長期・中立的なリスクマネー供給 を通じて、Society 5.0の実現に向けた新規 事業・新産業の創造、国内産業の国際競争 力強化、業界の再編を企図	✓			✓
	JIC PE共同投資 ファンド1号投資 事業有限責任組合	2,000億円	国際競争力強化に向けた大規模な事業再編 に際して、JICとの共同投資を実施	✓			✓
2020年 12月8日	Beyond Next Ventures2号投資 事業有限責任組合	40億円	医療・ヘルスケア分野をはじめ大学・研究 機関・企業の有する優れた技術シーズの事 業化に注力。産学連携による技術系スター トアップへのインキュベーション投資を実 施	✓	✓	✓	
2021年 2月26日	Catalys Pacific Fund, LP	30百万 USD	国内製薬会社や大学等から化合物を導入し、 グローバルでの開発を実施。創薬スタート アップとの協業によるオープンイノベ ーション創出についての知見共有や人材育成 により創薬エコシステム醸成に寄与	✓	✓		

*コミットメント額

JICの投資先ファンド一覧②



株式会社産業革新投資機構

公表日	ファンド名	JIC 投資額	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
2021年 4月19日	ANRI 4号投資事業 有限責任組合	29.5億円	ディープテック領域やインターネットとディープテックの融合領域にリスクマネーを供給。研究開発型スタートアップに対する人材面での支援を行うほか、女性キャピタリストや女性起業家の育成を通じたエコシステムのダイバーシティ推進も企図	✓	✓		
2021年 5月7日	みやこ京大イノベーション2号 投資事業有限責任 組合	41億円	アカデミア発ディープテック・スタートアップにリスクマネーを供給。Society5.0の実現に向けた高度な専門技術の開発や社会実装を支援。各地の大学との連携により、地方に眠る将来性ある技術の活用と技術系スタートアップのエコシステム醸成に貢献	✓	✓	✓	
2021年 12月3日	DRONE FUND3号 投資事業有限責任 組合	30億円	世界でも珍しいドローン・エアモビリティ特化型VC。ハード・ソフト両面に加え、ドローン関連サービスや、ドローンに応用可能なテクノロジーの開発・提供を支援。地方発の案件発掘にも注力	✓	✓	✓	
2021年 12月13日	UC ヘルスケア・ プロバイダー共同 投資事業有限責任 組合	240億円	地域の医療機関やヘルスケア事業者に対する支援を行うとともに、各関係機関の連携を図り、ヘルスケア業界における生産性の向上と、質の高いヘルスケアの効率的な提供に寄与。国内初の総合ヘルスケア・プロバイダーの創出を目指す	✓			✓

公表日	ファンド名	JIC 投資額	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
2021年 12月24日	Sozo Ventures III, L.P.	50百万 USD	北米の有カスタートアップに対する投資と、日本の事業会社に対する事業提携の機会の提供等を主軸とした投資戦略。米国内外のスタートアップ、スタートアップエコシステム、アカデミアに深いつながりを持ち、スタートアップの国際展開支援に取り組む	✓			
2022年 1月26日	ANRI-GREEN 1 号投資事業有限 責任組合	30億円	先行投資と長期の運用を伴う、Climate Tech領域のディープテック・スタートアップへ投資。同領域における民間投資資金の流入や、産業の育成、アカデミア発のスタートアップへの支援を通じた研究開発や社会実装の推進を企図	✓	✓		
2022年 1月31日	Genesisia Venture Fund 3号投資事 業有限責任組合	55億円	国内の独立系VCとして、プレシード/シード期のスタートアップに積極的に投資。東南アジアの日系企業と現地スタートアップとの提携支援等に取り組む数少ないファンドの一つ。現地のスタートアップエコシステムに参入し、業務提携や資本提携を締結させるなどの実績を有する	✓	✓		
2022年 3月7日	WiL Ventures III, L.P.	100百万 USD	東京と米国シリコンバレーに拠点を有し、国内外の有望なスタートアップに投資。国内事業会社等への啓蒙・支援活動を通じてオープンイノベーションの促進を図ると共に、海外の拠点・ネットワークを活用し、国内事業会社等と海外スタートアップとの事業提携等の創出を図る。また、国内投資先に対する海外展開支援等により、日本発ユニコーン企業の創出にも取り組む	✓	✓		

JICの投資先ファンド一覧④

公表日	ファンド名	JIC 投資額	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
2022年 4月5日	IAパートナーズ1号 投資事業有限責任 組合	100億円	主にエレクトロニクス、化学、ヘルスケア、 物流および消費財等の中堅企業を対象とし たカーブアウト・ロールアップを主軸とし た投資戦略。日本が国際競争力を持ちうる 事業分野における、既存企業による産業や 組織の枠を超えた事業再編に取り組む				✓
2022年 4月15日	QB第二号投資事業 有限責任組合	25億円	九州を中心として、九州大学ほかの地方大 学との関係を築き、連携を強化することで、 地方に眠る技術シーズの掘り起こしに積極 的に取り組み、地方大学発の技術系スター トアップに対する投資を実施	✓	✓	✓	
2022年 5月11日	DIMENSION2号 投資事業有限責任 組合	30億円	デジタルビジネス、ヘルスケア、ディープ テック等の領域のスタートアップに投資。 MBOやスピンアウトによるスタートアップ の設立支援など、オープンイノベーション の促進、新規事業の創造にも取り組む	✓	✓		
2022年 6月10日	Apricot Venture Fund 2号投資事業 有限責任組合	20億円	プレシード/シード期のスタートアップへ の投資に注力し、新規事業にチャレンジす る起業家を積極的に支援。デジタル技術を 中心に、Society 5.0 に向けた新規事業・新 産業の創造に資する分野への投資にも取り 組む	✓	✓		

JICの投資先ファンド一覧⑤



株式会社産業革新投資機構

公表日	ファンド名	JIC 投資額	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
2022年 7月5日	グロービス 7号 ファンド投資事業 有限責任組合 グロービス 7号 S ファンド投資事業 有限責任組合	80億円	企業価値として数千億から1兆円規模に成長する、日本を代表するスタートアップの輩出を目標とした投資戦略を掲げ、その中で、日本発のグローバルユニコーン創出を目指す。また、グローバルユニコーンを生み出す国内VCのロールモデルを目指す	✓	✓		
2022年 7月6日	Catalys Pacific Fund II, LP	30百万 USD	国内製薬会社等から有望な化合物を導出し、グローバルで開発を推進。創薬スタートアップとの協業によるオープンイノベーション創出に関する知見共有・人材育成を通じ、創薬スタートアップ・エコシステム醸成に寄与	✓	✓		
2022年 7月20日	ANRI 5号投資事業 有限責任組合	50億円	ディープテック領域や、デジタル技術によりサイバー空間とフィジカル空間の融合を促進する領域にリスクマネーを供給。プレシード/シード期の研究開発型スタートアップに対する人材面の支援を行うほか、女性のキャピタリスト・起業家の育成を通じたエコシステムのダイバーシティ推進も企図	✓	✓		
2022年 8月23日	WUV1号投資事業 有限責任組合	30億円	早稲田大学認定ファンドとしてアカデミア発ディープテックベンチャーにリスクマネーを供給。大学に眠る技術シーズの掘り起こしに積極的に取り組み、グローバルディープテックベンチャーの創出を目指す	✓	✓		

公表日	ファンド名	JIC 投資額	ファンド概要	Society 5.0	ユニ コーン	地方の 技術	事業 再編
2022年 9月16日	EEl 5号イノベーション&インパクト投資事業有限責任組合	30億円	環境エネルギー特化型ファンドとして Energy Transition、Mobility & Transportation 及び Smart Societyの3つの投資領域を設定し、当該領域で脱炭素を中心に持続可能な社会の実現に貢献する革新的なビジネスモデルや技術を有するスタートアップに対して投資を行う	✓	✓		
2022年 10月12 日	DNX Partners Japan IV, LP	60億円	日本と米国に拠点を持ち、SaaSモデル導入によるディープテックの社会実装等、Society 5.0に向けたディープテック領域の新規事業の創造を企図。また、米国市場の知見を活かした、国内スタートアップの海外進出支援を推進	✓	✓		
	DNX Partners Annex Japan III, LP	30億円	既存ファンドの投資先のうち、有望なスタートアップに対してフォローオン投資を行い、新規上場前の更なる成長を促す。海外進出支援を推進しつつ、SaaS領域を中心としたユニコーン創出を目指す	✓	✓		